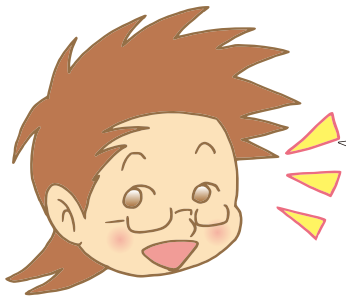


# 屋上防水と高反射率塗料の活用

太陽光が屋上に当たると熱エネルギーに変換されます。その熱は大気に放射され、ヒートアイランド現象の原因となり、建物内に伝わったものは室温を上げ、空調(冷房)調節がより必要になってきます。また屋上の防水層自体を傷める原因にもなります。

温度上昇を抑えるため、太陽光に含まれる近赤外線を高いレベルで反射する機能を持つ塗料を高反射率塗料(遮熱性塗料)と言います。マンションの大規模修繕では外断熱や窓まわりの改修(17ページ)が有効な手段ですが、屋上防水層の保護塗料に高反射率塗料を使うことでも、屋上や室内の温度上昇を抑え、省エネ効果が発揮されます。



屋上だけでなく、  
階下の温度も下がって  
快適になるとは  
一石二鳥ですね。

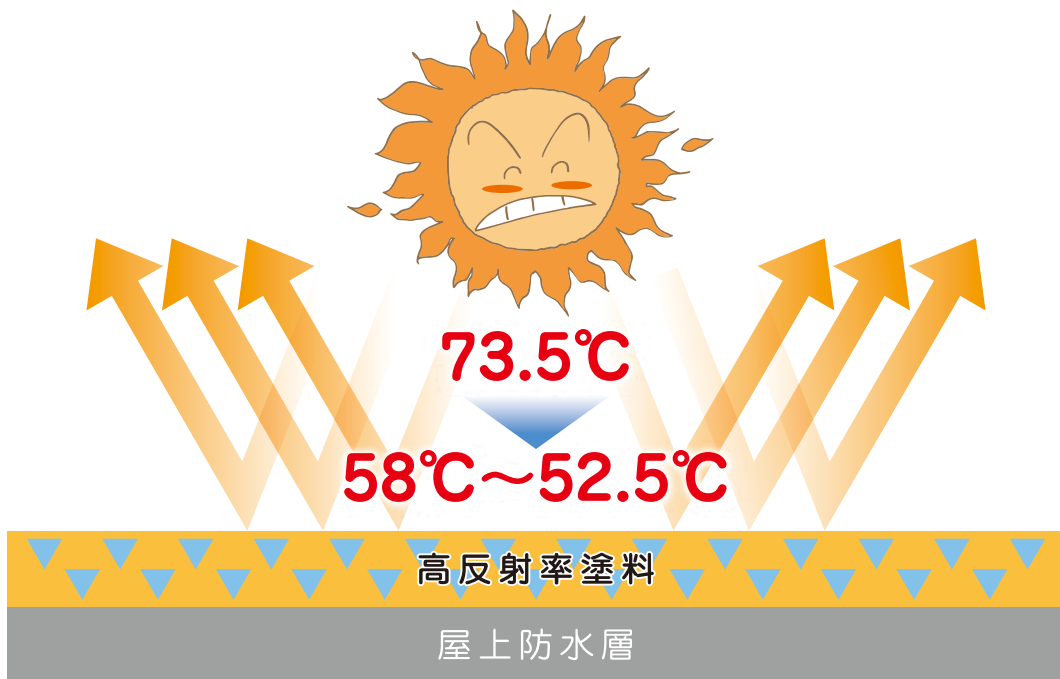
冷暖房費が  
**約5%削減**

※出典:「既存マンション省エネ改修のご提案」  
一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

## ここに注目

### 高反射率塗料効果実験

- 屋上表面温度：夏の炎天下における屋上の表面温度73.5℃が約15℃から21℃低下。(塗料メーカーによる実験値より)



高反射率塗料工事自体は形状に影響しないため、普通決議です。通常の大規模修繕における屋上防水工事の一つの工法としても考えられます。